

# 7935 IP Conference Phone の最適なパフォーマンス設定

## 内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[最新のリリースの使用](#)

[イーサネット ポートのハードセット](#)

[スイッチ上のポートのハードセット](#)

[音声または補助 VLAN 参照の削除](#)

[関連情報](#)

## 概要

このドキュメントの目的は、Cisco 7935 IP Conference Phone からの最適なパフォーマンスを実現するために役立ついくつかの推奨事項を提供することです。

## 前提条件

### 要件

このドキュメントに特有の要件はありません。

### 使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、Cisco 7935 IP Conference Phone に基づくものです。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。対象のネットワークが実稼働中である場合には、どのようなコマンドについても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

### 表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

## 最新のリリースの使用

最適なパフォーマンスを得るには、ソフトウェアの最新リリースを使用してください。最新リリースは次のとおりです。

- P005W301

## イーサネット ポートのハードセット

イーサネット ポートをハードセットするには、次の手順を実行します。

1. [Menu] を押します。
2. 下矢印を使用して [Admin Setup] まで移動し、[Select] を押します。
3. デフォルト パスコード **\*\*#** を入力して [Enter] ソフトキーを押します。
4. 下矢印を使用して [Ethernet Port Configuration] まで移動し、[Select] を押します。
5. 下矢印を使用して [10 MBPS-HalfDuplex] まで移動し、[Change] ソフトキーを押します。
6. 「The change(s) you have requested will cause the Cisco 7935 IP Conference Phone to restart.確認ソフトキーを押します。
7. 電話機が再起動します。

## スイッチ上のポートのハードセット

Cisco 7935 IP Conference Phone が接続するスイッチ上のポートを 10 Mbps/半二重にハードセットします。

Catalyst 2900XL および 3500XL 製品の場合にスイッチ上のポートをハードセットするには、これらのコマンドを発行します。

- `configure terminal`
- `interface 0/x`
- `speed 10`
- `duplex half`
- 最後

Catalyst 4xxx、5xxx、および 6xxx 製品の場合にスイッチ上のポートをハードセットするには、これらのコマンドを発行します。

- `set port speed x/y 10`
- `set port duplex x/y half`

## 音声または補助 VLAN 参照の削除

他の 7900 シリーズ IP Phone には PC を接続するための 10/100 ポートがありますが、Cisco 7935 IP Conference Phone にはこれが存在しないため、音声または補助 VLAN の概念は直接該当せず、問題が発生する可能性があります。Cisco 7935 が接続するスイッチ上のポートから音声 VLAN または補助 VLAN への参照を削除し、音声 VLAN と番号が一致する VLAN にそのポートを配置することで、潜在的な問題を回避します。

Catalyst 2900XL および 3500XL 製品の場合、音声または補助 VLAN 参照を削除するには、次のコマンドを発行します。

- configure terminal
- interface 0/x
- switchport access vlan z
- no switchport voice vlan z
- no switchport mode trunk
- no switchport trunk encapsulation dot1q
- 最後

Catalyst 4xxx、5xxx、および 6xxx 製品の場合、音声または補助 VLAN 参照を削除するには、次のコマンドを発行します。

- set port auxiliaryvlan x/y none
- set vlan z x/y
- set trunk x/y off

## 関連情報

- [音声に関する技術サポート](#)
- [音声と IP 通信製品サポート](#)
- [Cisco IP Telephony のトラブルシューティング](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント – Cisco Systems](#)